



第179号

令和7年10月発行

編集・発行

社会福祉法人
松野町社会福祉協議会

〒798-2101

北宇和郡松野町大字松丸1661-13

TEL (0895) 42-0794

FAX (0895) 20-5311



まつの社協だより

10月1日から はじまります 赤い羽根共同募金運動



意志あるお金、募金のチカラ。

スマホからも、募金できます！



ケアマネだより

「感染症を予防しましょう」

秋になると毎年、風邪やインフルエンザが流行します。感染を予防するためには、こまめな手洗いやうがい、マスクの着用など、日常の対策が大切です。

今回は、普段の手洗いでどの程度きれいに洗えているのかを「手洗いチェッカー」を使って確認してみたいと思います。



手洗いチェッカー ①ウイルスに見立てた専用の液を塗ります。 ②石けんで手を洗います。



③ライトに手をかざします。光っているところが洗い残しです。 ④洗い残しの部分を意識して、しっかり手を洗います。

しっかり洗っているつもりでも、手には意外と多くの洗い残しがあることがわかりました。外出先からの帰宅時や調理の前後、食事の前後など、こまめに手洗いを心がけましょう。

※手洗いの詳しい方法は、厚生労働省の「手洗いについて」をご覧ください。

「手洗いチェッカー」は、松野町社会福祉協議会で貸出をしています。ご利用希望の方は、事務局までお問い合わせください。TEL 42-0794

いきいきシニア 受賞おめでとうございます！

第65回愛媛県老人クラブ大会が開催され、町内から3名が表彰されました。



活動功労者
高橋 洋介さん(富岡)

高齢者福祉関係功労者
鶴本 好福さん(吉野)

優良介護者
山下 孝子さん(奥野川)

「ふくし」って？「しあわせ」って？



松中 福祉学習



松野中学校2年生の皆さんと、福祉ボランティアさん、高校生、大学生と一緒に、松野町の魅力や目指す地域像について意見交換しました。

高校も大学もない、県内で1番小さなこのまちの未来に向けた挑戦・活動への思いを、多世代で語り合いました。今後、思いを叶えるための活動を予定しています！



福祉ボランティアグループ

活動紹介

「できる時に、できること」を合言葉として活動している松野町福祉ボランティアグループの皆さん。

松野町が「安心して暮らせるまち」になるよう、地域に関心を持ち、楽しみながらボランティア活動をされています。

活動を通して、様々な人とのつながりづくりに取り組まれています。



▲防災ミニ講座

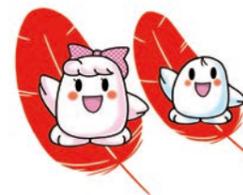
▲楽しみづくり
居場所づくり

▲通学路
清掃



赤い羽根共同募金

行き先は
松野町



募金の使いみち

赤い羽根共同募金は、時代ごとの社会の困りごとを民間の立場から解決するために活動を続けています。

今後ますます重要になってくるのは、住民同士が助けあい、子どもから高齢者まで一人ひとりが安心感と生きがいを持って暮らせる地域づくりの取り組みです。

共同募金への寄付金は、その取り組みに対して貴重な財源となっています。

今年も10月1日から全国一斉に募金運動が始まります。

集まった募金の約7割は松野町の福祉のために、約3割は愛媛県内の広域的な活動や災害支援に使われています。

町のみんで集めた募金は自分の町を良くする活動に使われています。

令和6年度実施「松野の町を良くする」ための活動報告

地域活動への助成

多世代交流やみんなで集う場づくりへ助成しました。

地域での活動を通して、交流しながら地域のコトや人のことを知り、生活課題の解決にもつながる活動に使われています。



ふれあい・いきいきサロン活動



近所の集会所等に集まって、住民のみなさんが自発的な活動を続けています。

心と体の健康づくり、孤独・孤立予防、ご近所さん同士のつながりや支え合いを大切にされた地域づくりを支援するため、町内のサロン活動の運営費を助成しています。

その他にも…

ボランティア活動への助成、小学校入学記念品の学童傘を通して登下校時の安全支援や、中学卒業記念品の図書カードを通して学習の支援、介護予防のための備品の整備、防災講座に使用する教材の整備、支援を必要とする世帯の把握と見守り等、地域活動の財源として活用させていただきました。



10月から各地区の区長さん・組長さんを通じて募金や、職域募金、募金箱設置による募金も行っています。

みなさまのご理解とご協力をお願いいたします。

